

資本主義は社会主義に必ず変わる

『空想より科学へ社会主義の発展』に学ぶ

第4回 東京ブロック

空想的社会主義の限界

3人の空想的社会主義者

司会 今回、第一章で偉大な空想的社会主義者であった3人からエンゲルスは何を学んでほしいと提起しています。まず説明して下さい。

FKIIマルクスとエンゲルスは、ことにフリーエ、サン・シモン、オーウェンの三天空想的社会主義者の思想を高く評価しています。彼等は資本主義の矛盾を批判しました。そしてこの矛盾は、生産手段の共有を土台とする社会主義社会でないと解決されないと考えた点に関して、マルクスもエンゲルス

も、彼らから多くのことを学びました。

ブルジョア社会の成立、発展は、プロレタリアートの発達を呼び起こし、貧富の対立が激化しました。このようなブルジョア社会の社会的矛盾を背景に、彼等は社会主義思想を成立させます。それがフリーエ、サン・シモン、オーウェンの3人の空想的社会主義者でした。しかし、彼らは社会主義を絶対の理性、正義の表現として考え、先月学習した啓蒙思想家たちの考えていた理性と正義による社会から出ることはできませんでした。その原因は、人間の歴史的発展の必然性としては理解

しませんでした。彼らはブルジョア社会の矛盾解決の手段が、ブルジョア社会自身の中に成長していることをみることができませんでした。彼等はいずれも資本主義の基本的矛盾に鋭いメスを入れながら、来るべき新しい社会の実現者を知りませんでした。資本主義社会の成立による貧富の拡大が、人間の不平等と隷属の根源であるから、平等の自然状態に戻れという主張です。

彼等が近代労働者階級の歴史的意義を発見することができなかったことを、マルクス、エンゲルスも彼等の歴史的限界であったとしています。歴史発展

◆ みんなの学習講座

の必然性として理解されてはいなかったのです。空想的社会主義の限界は、社会形態も国家形態も、またあらゆる伝統的観念も、みな非理性的なものと見て、ごみための中に投げ捨て、ただ彼らの理性にもとづいて、新しい社会を作ろうとしました。彼らが頭の中で考え出した理性に従って、つまり、思想によつて現実を作るという意味で、これは「逆立ち」しているのです。

天才が現れれば社会は変わる？

司会Ⅱ ありますがどうございます。質問をどうぞ。

WⅡ 「空想的社会主義」と第一章冒頭の「近代的社会主義（科学的社会主義）」では、何がどう違うのですか。

司会Ⅱ 良い質問ですね。この違いを理解すれば、この章全体を理解したことになります。詳細は次回の学習会で詳しく討論します。簡単に入り口の問題として整理をしたいと考えますので、Wさんの質問に答えてください。

NOⅡ 彼ら3人が空想的社会主義であったことはテキストで述べられているように社会主義をめざしながらも「いきなり全人類を解放しようとした」とあります。誰が、どのように変革するのか、その主体となる者の発見と変革への道筋を示せなかったことにあります。確かに啓蒙主義者による「ブルジョアの世界」については非理性的なものとして否定しているのですが、彼ら

を空想的社会主義にとどまらせた原因は、FKさんが言われた「絶対的理性正義」による社会主義実現でした。場合によつてはブルジョアの良心に訴えることを考えていたようです。

一方、科学的社会主義の立場はどうかという点、唯物史観の確立なしには考えられないのですが、（このあたりは次回詳しく討論されますので）社会主義社会実現のためにはプロレタリア

ートの役割という革命の主体の発見があります。ブルジョアジーの打倒、プロレタリアの解放、全人類の開放が、歴史の担い手プロレタリアートにあることを明らかにしたことにあります。

空想的社会主義者の歴史的限界であるともいえるのですが、プロレタリアートが変革の担い手であることを3人が理解できなかった、彼らが空想的にとどまるか、社会主義を科学としたかの分かれ道ともいえます。

司会Ⅱ Wさんいかがでしょうか。今回はこれにとどめます。

WⅡ 要するに空想的社会主義者はプロレタリアートの歴史的役割を発見できなかったことですね。

司会Ⅱ そうですね。他に質問はありませんか。

UⅡ テキストの35頁（彼らが空想的であったのは社会的地盤がなかったからだ）の部分です。何気なく読むとわかるほどと思えるが、よく読むとわかり

にくいです。後ろから8行目、「それはわれわれがこの二者を正しく認識しなかったからである」「天才的な個人が欠けていたからである」とあります。この言っていることは空想的社会主義者に対しての考えをエンゲルスが言っているということですか？

HGⅡこの二者とは何ですか。

UⅡ二者とは「理性と正義」ですが、その後にくでしよう。「人類が五百年の誤謬ごごと闘争と苦悩とがなくてすんだかもしれない」と。この部分は、空想的社会主義者に対してのエンゲルスの考えですかというのが私の質問です。

天才って、マルクスのこと？

FKⅡ「天才的な個人」とは、逆説的な言い方だと思うよ。

HTⅡマルクスのことではないの。

司会Ⅱこのところは、引っかけりますね。あまりしつくりきませぬね。皆さ

んでそれぞれ出し合い、解明していきましよう。

UⅡ私は、天才が現れば社会が変わる、と空想的社会主義者は思っている、とエンゲルスは批判していることだと思うが…

HGⅡ天才とはマルクスのことではないの？

MⅡそうではないでしょう。

UⅡいくら天才がいたとしても、社会的地盤が確立してないと社会変革はできないでしょう。

HTⅡ500年前というが…

SKⅡ500年前とは、2年前の『共産党宣言』に学ぶで、中世1300年代にイタリアで資本主義が発生していた、とあったでしょう。『共産党宣言』にも書いてある。

UⅡそうすると、どう読み取れば良いの？

SKⅡその時に資本主義は成り立っているから、それを分析したのはマルク

スだ！ マルクスがその時に生まれていれば…

SKⅡマルクスのような天才が生きていれば、500年前に解決していたんではないか。

UⅡそもも考えたくなるでしょうが、歴史は一足飛びに発展してきたわけはありません。現実に原始共産制から辿ってきた今日まで、そして思想的には、啓蒙主義者が出現し、さらに空想的社会主義者が生まれて、社会を変えようという思想が生まれて初めて社会主義をめざそうとなったのでは。

SKⅡこのパンフレットを書き上げたのは、マルクスが『資本論』第一巻を書き上げた後です。500年前にマルクスが存在していたら、違っていたんではないか、と思わせますね。

UⅡこの天才的とは、マルクスのことを言っているということですか。

司会Ⅱそういう捉え方もあると思うが、それで良いのか、ひっかけりますね。

◆みんなの学習講座

UⅡ違った捉え方になるからね。

SKⅡ『共產党宣言』に書いてあったからね。500年前にイタリアに資本が生れた、と。それは商品の場所移動により諸外国との貿易・交易で利益を生み、資本が成長していたことだ。

UⅡ資本主義が発展していても、そこで社会主義をめざそうという考えは生まれてなかったでしょう。

NOⅡ議論が先走ったり、歴史発展の法則を見誤らないように考えましょう。確かにイタリアで資本主義の成立があったとマルクスは言いますが、問題はそれが資本主義的生産を基礎としたものであったかどうかをよく考えましょう。資本主義的生産が基礎にあればブルジョアと共にプロレタリアートも誕生していると考えるからです。

UⅡマルクスだって産業革命を経て、イギリスの資本主義社会を見て、それらを分析した結果でしょう。空想的社会主義は、理想社会をめざす、ユート

ピアを描き、理想の王国をめざした。

FKⅡ個人のことでなく、偶然とは逆に、必然的なものを理解するような人物がこの時代にはいなかった。こういうものを偶像化した格好で「天才的個人」という表現になったのではないかな」とUⅡわざわざ訳者の大内さんが表題を付けてくれている。「彼らが空想的であつたのは社会的地盤がなかったからだ」とあります。

MⅡ天才的個人とは、頭の中だけで考える。ここに書いてあるが、啓蒙主義に従つての理想国家だから、それを實現するのは天才的個人が欠けていたからだ、王国の表現には、ほんとうの理性と正義を認識する天才的個人が欠けていたからだ。こういう考え方に立てば、彼らの理想社会の表現には天才的個人の出現という偶然によって支配される。これはエンゲルスの比喩ではないか。要するに、啓蒙主義に従つていけば、理想国家というものは天才的個

人の頭の中ではなく生まれぬ。空想的社会主義者3人が言っている、理想国家を言っている。現実とは関係なくして、こういうふうに捉えた。

HTⅡそれは全く偶然のことであつた。MⅡそうなんです。全くの偶然なんです。啓蒙主義が、「自由・平等・博愛」を掲げ、描く国家というのは、実際の地上にあるわけではなく、頭の中に描く理想国家です。

司会Ⅱ問題は天才的個人でなく、社会の発展法則で社会を変えていく原動力をしっかりと認識するということかな。

TTⅡ学校の歴史教科では、特定の偉人が歴史を作り変えたように、私たちは教育の中で教わりました。だから理想国家を唱えても、それは実現できない。その社会的地盤から出発しなければならぬ。エンゲルスは空想的社会主義者から学び、私たち労働者階級に歴史的任務を教えていると思います。

3人の空想的社会主義者とは

司会 3人の空想的社会主義者は、いつの時代に、何を考え、何をしようとしたか、簡単に説明してください。

TGIIサン・シモン（1760～1825年）は1760年、パリの貴族の家に生まれています。彼は天才的な大な視野をもって自然科学の研究に熱中するとともに、周囲に多数の哲学者、科学者を集めて、自然科学を土台にした、巨大な人類解放のための科学を作り上げ、学問と人類解放の壮志に奉仕すべきものであると考えたのです。同時に貴族、僧侶の身分的特権の廃止などを唱えていました。そのようにして、人類相互に同胞として愛するというキリスト教的精神が、科学と産業の中に、この精神が貫かれ、この宗教的紐帯（紐帯）によつて結合されるとき、はじめて『新キリスト教』が成立する、このことによつて、社会の大多数を占める働く階

級の物質的、精神的生活が改善される、と考えた。

シャルル・フリーエ（1772～1836年）は、富裕な商人の家に生まれた。フランスに飢餓があつたとき、食糧価格を暴騰させるために、店主に食糧を海中に捨てるように命ぜられました。かねて商業に疑いを持っていた彼は、鋭い社会批判とともに、ついに社会主義思想を持つに至つたということです。生産の拡大はやがて消費的土台を追い越し、過剰生産恐慌を発現させた。フリーエ自身の言葉を借りれば、「文明社会においては、貧困は豊富なものから生ずる」ということです。フリーエは、このように資本主義の矛盾を鋭くえぐつたのであり、エンゲルスは彼の思考方法を高く評価しているのです。

TKIIロバート・オーウエン（1771～1858年）イギリスの北ウェールズのニュー・タウンに商人の子とし

て生まれ、20歳に達したときには、もうマンチエスターで最大の紡績工場の支配人となり、以後名声を高めて、1800年には、当時イギリス第一といわれた2500人の労働者をもつニュー・ラナー紡績工場の総支配人となりました。彼は、フランス唯物論の影響を受け、人間というのは環境の産物であり、環境が良くなりさえすれば、人間の性格は必ず良くなるという確信を持つて偉大な実践をしたのです。

他の工場では労働時間は14時間以上でしたが、彼は一挙に労働時間を10時間半に短縮し、綿花恐慌のときに4カ月休業したときも、労働者に賃金の全額を支払いました。子どもを2歳から幼稚園に収容し、図書館を作りました。こうして、飲酒と乱暴と自堕落と犯罪の町であつたニュー・ラナーは、ヨーロッパに名声を博した模範的な労働者の町となり、オーウエンの工場には世界各国より訪れる見学者が

◆みんなの学習講座



3人の空想的社会主義者（左から、サン・シモン、ロバート・オーウェン、シャルル・フーリエ）

ひきもきらなかつたのです。

労働条件をこんなに良くしても巨額の利得が生まれるのはなぜか。それは誰が生産したものであるか。そして、それは労働者が生産した富の一部であるに他ならないという結論に達しました。工場で労働者が働かなかつたら一インチの綿糸も生産できない。そうするとこの富は労働者が作り出している。労働者こそが主人公であるということに悟つたのです。オーウェンによれば、機械その他、労働者の手で富を作り出す一切の手段は、働くものたちの共有財産であることが当然である。このように思い至るとともに、彼は社会主義者になつたのです。

司会II ありがとうござります。3人の偉大な空想家が現れ、資本主義の生産の最も発展した国で、資本主義の生産によって生み出された諸矛盾と対立の影響のもとに、階級的差別廃止案をフランス唯物論に直接的に結びつけて系

統的に説明した点は、マルクスもエンゲルスも空想的社会主義の思想を高く評価しています。しかしなぜ彼らを空想的社会主義と規定したのかです。

MIIサン・シモン、フーリエ、オーウェンの3人に共通な点は、当時歴史的に生み出されていたプロレタリア階級の利害の代表者として登場したのではないということです。そのため、理性と正義による社会変革を目指したといえるでしょう。社会を変える主体が見えず空想的社会主義に留まります。

司会II Wさんから出されている①空想的社会主義者と科学的社会主義者との違い、②空想的社会主義者も生産手段の共有を土台とする社会主義でないとは基本的矛盾は解決されないと考えているのに、資本主義社会の発展の必然性を見出すことができなかったのはなぜか（唯物史観を含めて）、次回の学習会の課題にします。